

## 2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 3 月 31 日作成)

小委員会名	建築材料・部品火災安全性小委員会	主 査 名：長谷見 雄二 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：山田 常圭
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・「防火材料パンフレット」(1993 年刊)の後継出版物・情報メディアの制作</p> <p>初年度: 「防火材料パンフレット」以降の動向の整理、防火材料に関する情報発信方法の検討</p> <p>2 年度: 建築材料の火災性状、防火性能評価法、性能的火災安全設計手法に関する情報とりまとめ、情報発信方法の基本方針の決定</p> <p>3 年度: 「建築材料・部品の火災安全性ガイド」執筆。関連情報整備、発信方法の検討</p> <p>4 年度: 「建築材料・部品の火災安全性ガイド」の編集・出版。関連情報のとりまとめ・発信</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>長谷見雄二(早稲田大学)、田坂茂樹(日本建築総合試験所)、大宮喜文(東京理科大学)、成瀬友宏(国土技術政策総合研究所)、箭内英治(防災協会)、長岡勉(竹中工務店技術研究所)、上川大輔(森林総合研究所)、水上点晴(建築研究所)、吉田正志(建築研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2014 年度予算	180,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1993 年に発行された「防火材料パンフレット」について、防火材料やその試験方法、燃焼性状に関するその後の学術的発展、防火材料に関する制度・需要・社会的認識の変化、火災安全に係わる社会的状況の変化をもとに見直しを行った。「防火材料パンフレット」の改訂の検討を成果物として想定していたが、防火材料を巡る制度的環境の変化が著しく、全面的な書き下ろしが必要と考えられたこと、また、本小委員会の委員のほとんどが、本小委員会設置期間中に法改正を目的とする事業及び震災調査に忙殺されたことなどで、「防火材料パンフレット」に替わる出版物の編集については十分な成果を得られなかった。これについては、周辺状況が落ち着いてきたため、2015 年度に WG レベルの活動により 1 年程度で原稿を作成し、2 年以内の刊行を目指したい。</p>
委員会活動の問題点 ・課題	